



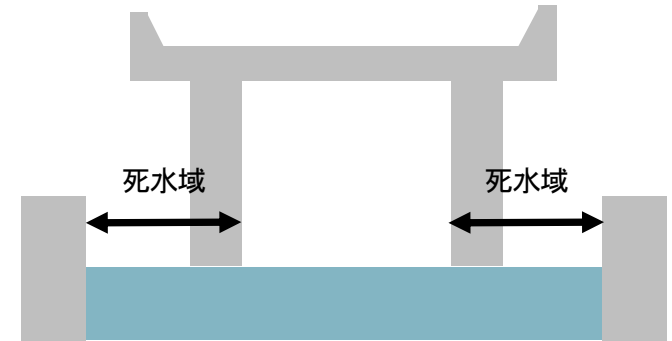
東横堀川における水都大阪の新たなシンボル空間創出調査研究業務
報告書概要版

株式会社ワイキューブラボ

東横堀川における新たなシンボル空間創出・水辺のまちづくりの方向性

① 活用価値の高い連続した水面を最大限活かす

- 高速道路の橋脚の外側は航路から外れており、治水上も流量断面としてカウントされないため、水面を占有した活用の可能性があり、水都大阪のなかでも随一の連続した水面活用のポテンシャルを持っている。
- 東横堀川水門と道頓堀川水門に囲まれており、流れが穏やかな水面のため多様な活用の可能性がある。



② 水辺へのアクセスを増やして南北を通して歩けるようにする

- 東横堀川全体において今後護岸改修工事が本格化する予定となっており、将来的には沿川全体に公園緑道が整備される計画となっている。
- 都心の貴重な自然に触れられる水辺として川全体を通して歩けるようにする。
- 閉じられた沿川の空間を開いて水辺へのアクセスを増やす。



沿川に多数点在する閉鎖空間

③ 沿川のプレイヤーや企業が活躍できる仕組みを整える

- 地域によるお掃除やイベントなどの市民活動、界隈の個性的な店舗や地元企業などの水辺活用などを実現するための公園及び河川のルールを整える。



多様な主体の活動を受入れるβ本町橋

④ 公共整備と民間事業を連動して一体的な水辺空間づくりを目指す

- 東横堀川全体において今後護岸改修工事が本格化する予定となっており、将来的には沿川全体に公園緑道が整備される計画となっている。この動きと民間事業を連動させることで、民地ー公園ー水面を一体的に活用する空間づくりを行う。

⑤ 埋もれている歴史的な文脈を発掘して多様な主体の共感をつなぐ

- 大阪城の外堀として開削された東横堀川は、歴史的な文脈を受け継ぐ町名などの資源が埋もれている。新旧・内外含めた多様な主体の関わりを育んでいくうえで、共通言語となり得る歴史的な文脈を大切にする。

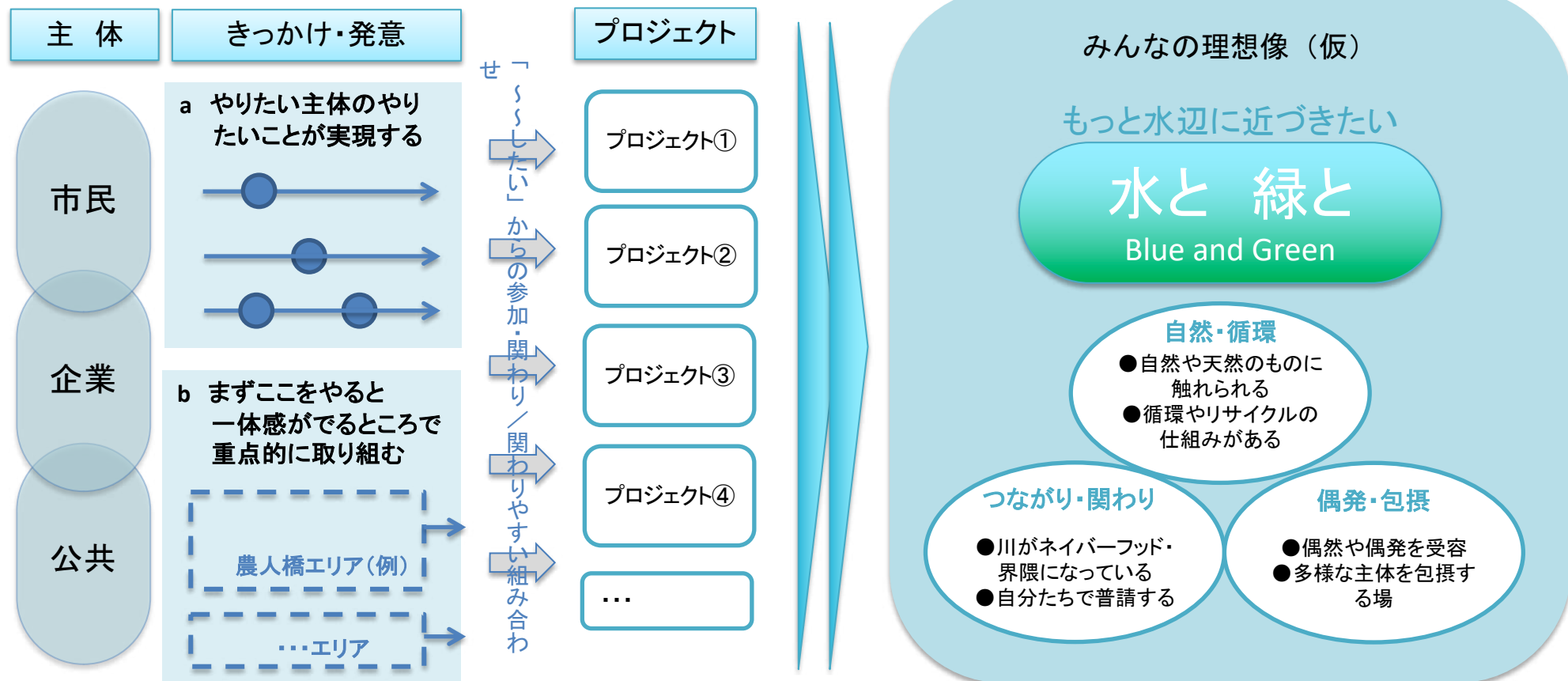


高麗橋周辺の岸岐を備えた並び倉



大阪市都市計画図
(都市施設)

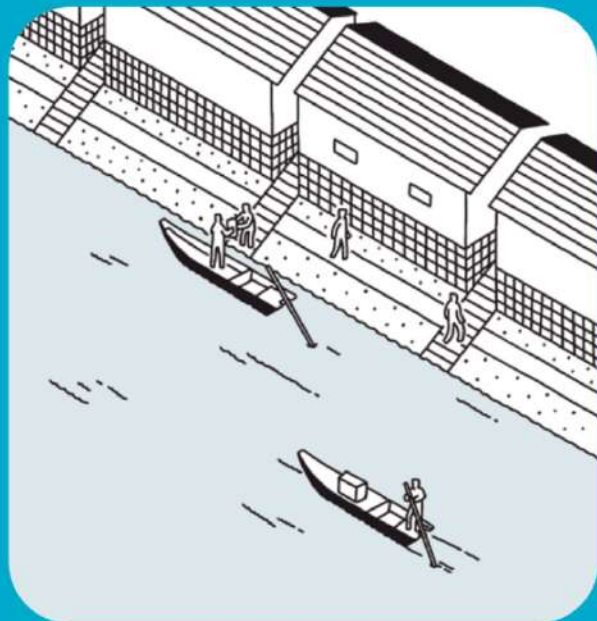
みんなの理想像(仮)と実現に向けたアプローチ



スパン 企業の参加:一般的な事業計画期間である3年間の長さで取り組みを考える。
市民の参加:市民の参加が一つの形になる4~5年間を単位として考える。
市民への浸透:まちの変化が広く一般に浸透するまでにかかる7年間という長さで考える。

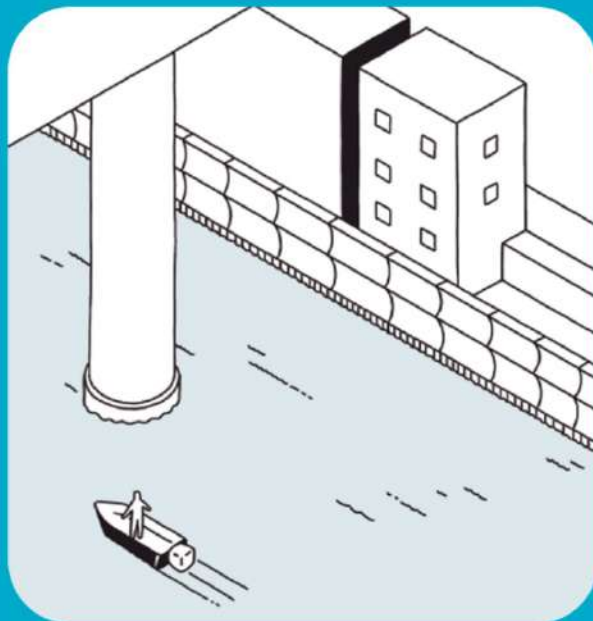
歴史的的文脈をふまえた水辺の空間の変容イメージ

むかし



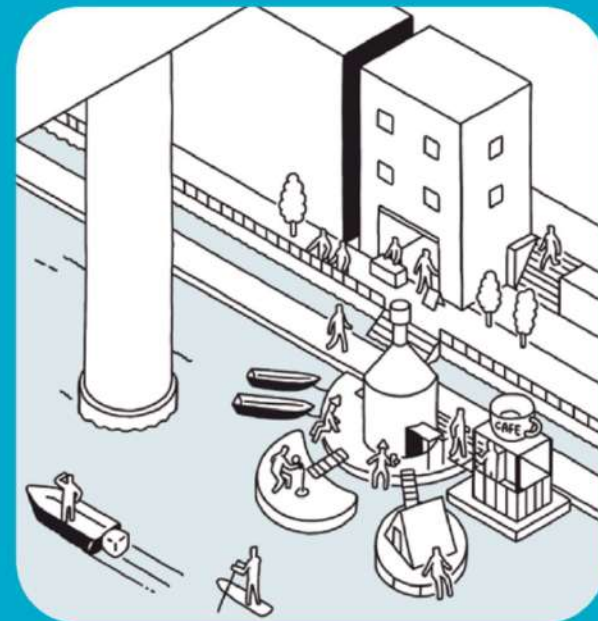
江戸時代、「浜(はま)」と呼ばれた水辺は、水運の荷揚げ場や蔵として活用された。まちから川へつながる階段護岸「岸岐(がんぎ)」や、水際の通路「犬走り」があり、みんなが使いやすいように維持されていた。

いま



昭和初期から建物が建てつまり、岸岐も減少。高度経済成長期には、川上に阪神高速道路が、川沿いに背の高いコンクリート護岸が整備され、川とまちが分断。誰も近寄れない水辺は、良好な環境維持が難しい状況に。

これから



2021年に開設した東横堀川初の水辺拠点「β本町橋」では、水面を活用した係留施設が実現。これと同じように、今後長期的に進められる護岸の耐震改修にあわせて、オープンな水際空間づくりと積極的な水面活用を検討。

東横堀川の将来イメージ

ING

東横堀川



いま東横堀川は、みんなのINGを
積み重ねることによって、変わろうとしています。

0. 今年度の調査研究業務の方向性

昨年度 明らかになった方向性

- 沿川全体を歩けるように開きたい。
- もっと水に近づきたい、触れたい。
- 多様な主体の発意で利活用するところから水辺を開いていきシンボル空間づくりにつなげる

今年度の狙い 暮らす人・働く人:地を考える 多様な主体の発意を東横堀川のシンボル空間創出にいかにつなげるか？

- 実際に東横堀川でやりたい人を募集し、実践するにあたっての具体的な課題を明らかにする。
- 多様な活動主体が東横堀川に関心を持つきっかけになるようにオープンミーティングの開催や情報発信を行う。
- 水に触れることができる可能性を明らかにする。

次年度の展開 ソトの人・世界の人:図を考える 内外の人を惹きつける東横堀川ならではのシンボル空間の具現化

- モデル例で、シンボル空間の具現化・可視化を試行
- オンラインシンポジウムを通して、国際的な水辺や水上の利活用プロジェクト主体とつなぎ、世界の視点から東横堀川の将来を展望する。
- 河川課調査業務などと連携し、東横堀川での社会実験などのプロジェクトを一体的に発信を行う。

1. シンボル空間創出に向けた調査研究とモデル例の企画 ①ヒアリング・ワークショップ

(1)関係団体ヒアリング

東横堀川沿川の利活用にあたり、今後の利活用に資する意見を得るために活動団体等へのヒアリングを実施。

1)プレーパーク活動 3団体 (長居プレーパークつくろう会/ プレーパークたねっこ・もりまちっこ/まちっこパーク)

- 都会の公園では、子どもたちの遊びに制限がかかってしまう。
- 子どもたちのやりたい！を後押しできるような遊び場をつくりたいと活動している。
- 大阪市実施のパークファンにも参画しているが、制限が多く、本来のプレーパークのような活動ができる場所があればぜひ活用したい。

3)その他(ヒアリング予定)

予定

- NPO法人 大阪水上安全協会
水上安全から見た東横堀川の再整備
- 一般財団法人環境事業協会
鶴見緑地公園「SDGs自然農園あわい農園」運営について

2)舟運関係者 (一本松海運 足立氏/大阪水上バス 大江氏)

- インバウンドは東横堀川を通ると、高速の橋脚が立ち並び他にはない風景なので盛り上がる。
- 東横堀川は道頓堀や大川とは違った魅力づくりが必要である。灯籠流し等による幻想的な演出などが合うと思う。
- 新型コロナウイルス感染拡大前には、水門閉鎖後の夜間航行の実施に向けた話もあった。現状は夜のまちに人が戻っておらず集客が見込めないのではないか。
- クルーズだけではダメで、まちも巻き込んで、陸のコンテンツと合わせて盛り上げないといけない。
- 夜間は昼間よりも酔っぱらいや悪ノリした人によるいたずらへの注意が必要。

(2)オープンミーティングの開催1

オープンミーティング形式により、多様な主体のヒアリング・意見交換を実施。

1)オープンミーティングvol.1 ゲスト:岩本唯史氏(水辺総研)

- 東横堀川は、行政主導型ではなく、市民側の発意を受けて行政がサポート支援する民間主導型である。水辺がローカルに委ねられる時代になってきたが、東横堀川は正にリーディングローカルな場所。
- 横浜に立ち上げた水辺荘は、水辺に普通の人が立ち寄れる活動を目指した。楽しみがずっと続いていることが重要。地縁コミュニティとテーマ方コミュニティがうまく合わさることで、予期せぬアイデアや出会いが生まれる。
- 関わっている人それぞれのその人からしか得られない現場の知見等を社会にフィードバックすることが大切。
- 水辺は所有権を行使できなかった最後の場所で「コモン」と呼んでいる。利害調整してはならないという場所がコモンだと思う。この場所を共有するという「コモン」概念により、利害調整ではなくイノベーションの沿川になると思う。
- 今回のINGプロジェクトも、活動を通してフィールドの評価軸を変えることで関わってもらいたいステークホルダーに興味を持ってもらうのが理想。

(2)オープンミーティングの開催2 (予定)

2)オープンミーティングvol.2 ハイパー縁側コラボ

●東横堀川INGのプレイヤーへのインタビューを通し、プレイヤーから見た東横堀川の利活用可能性や、東横堀川のシンボル空間のあり方、その実現に向けて必要な事への議論を深めます。

3)オープンミーティングvol.03 東横堀川ING 報告会

●有識者と地域・関係者・プレイヤーによるR4年度の活動報告会。今年度の取り組みと次年度からの展開を共有し、参加メンバーでWS形式での意見交換を行い次年度に生かす。

2回のオープンミーティングで
プレイヤーや地域、関係者との意見交換を通して、
以下を明らかにする。

- 実際やってみて分かったことや感想、周りの反応
- 今後の展開希望、こんなサポートがあるといい
- 東横堀川についてどう思う？
- 東横堀川らしいシンボル空間とは？

(1)河川課 意見交換・調査等の調整会議

■目的

・護岸改修をきっかけとした東横堀川のハード整備方針の検討及び今後の整備に向けた社会実験・調査を予定している河川課と情報交換や意見交換を行い、ハードとソフトが連動し、官民が連携した取り組み推進の方向性を探る。

■実施概要

- 第1回 12月7日(水) 9:30~12:30 ○河川課・水都大阪コンソーシアム業務内容の共有
○官民連携まちなか再生事業への申請について
- 第2回 1月27日(金)13:30~15:00 ○次年度の事業内容の役割分担
○官民連携まちなか再生事業 申請後のスケジュール等について

■参加者

河川課、中央復建コンサルタンツ（株）、水都大阪コンソーシアム、（株）ワイキューブ・ラボ
（一社）水辺ラボ ※官民連携まちなか再生事業に関してのみ参加

- 官民連携まちなか再生事業に「東横堀川水辺プラットフォーム検討会」として申請を行った。
- 次年度の本事業と河川課調査事業との連携を図ることで、シンボル空間創出に向けて相乗効果の高い社会実験の実施・検証を予定。
- 東横堀川での一連の調査や社会実験の発信力強化のため、情報発信の一元化を予定。

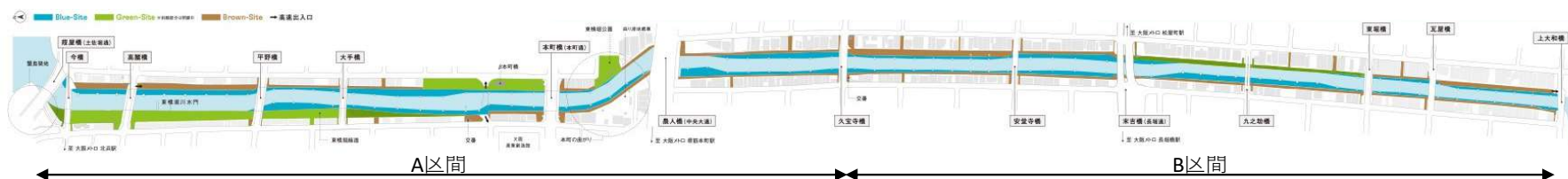
(1) フィールド調査によるトライアルエリアの検討

■目的

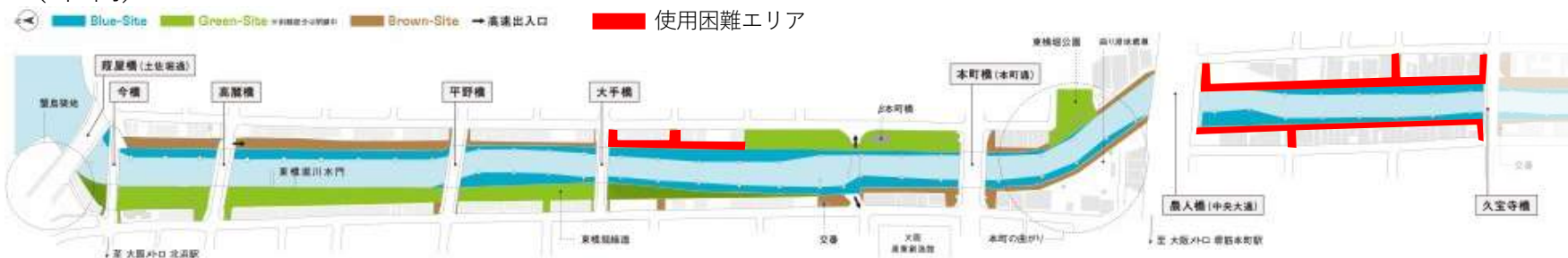
モデル例の企画、東横堀川INGの提案募集に向けて、昨年度調査・整理した東横堀川の死水域と都市公園区域の分布図を基に、フィールド調査を行い、アクセス路の有無や工事等による占用状況を加味し、本年度の東横堀川INGの提案募集のトライアルエリアの精査を行った。

■調査期間 2022年7月～8月

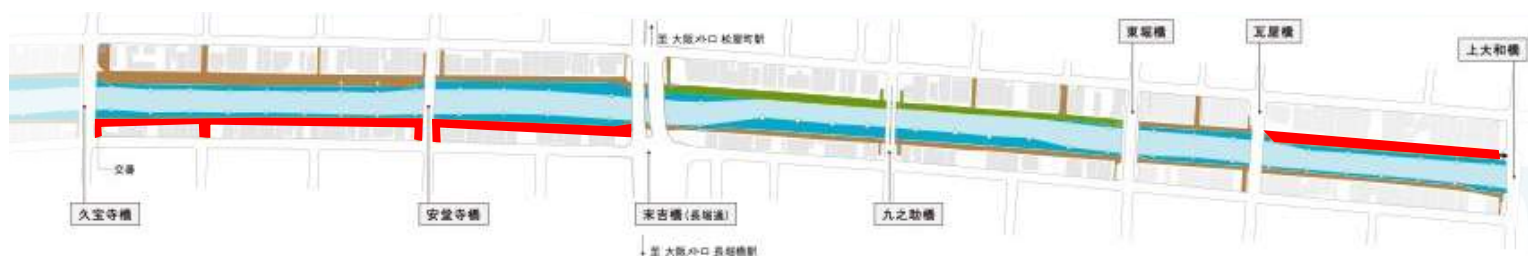
■東横堀川沿川の全体像（全長約3km）



■対象エリア (A区間)



(B区間)



(2)東横堀川ING提案募集

■目的

今年度は主体発意の提案を募集し、多様なプレイヤーによる東横堀川の利活用の可能性を探ると共に、それらの実現に向けて管理者等との調整より、今後の東横堀川らしいシンボル空間創出の実現に向けた課題を整理するため、東横堀川ING提案募集を行なった。

■公募期間 2022年8月8日～8月31日

■募集テーマ

東横堀川沿川ならではの特性を4つのサイトとして整理し、多様な提案を求めた。

Blue-Site ING

橋脚と護岸に囲われた航路から外れている水面。



Green-Site ING

整備された公園や緑道。一部閉鎖されている場所も。



Brown-Site ING

将来の公園・緑道の予定地で、今は閉ざされている。



Cruise-Site ING

船が行き交う航路。高速の橋脚が屋根となったここにしかない河川空間。



■東横堀川ING 対象エリア動画

沿川の状況を取めた動画を撮影しYoutubeにて公開して、提案募集時の現地状況把握用の資料とした。
※詳細は「3. 研究成果の情報発信・共有（予定）」にて記載。

■スタディツアーの企画

普段は入れない、近づけない場所も多いことから、水上・陸上共にスタディツアー枠を設け、応募者の希望に応じて開催することした。

・実施は1件

- ・プレーパーク提案グループによるグリーンサイト（閉鎖されている公園）の下見を12月・2月の2回実施した。
- ・ブルーサイトやクルーズサイトでのスタディツアーの希望はなかった。



あなたのINGがこれからの東横堀川をつくる
東横堀川ING 提案募集!

エントリー期間：8月8日(月)～8月31日(水)

■東横堀川INGとは？
大原の川の中で、唯一全面を高速道路に覆われた東横堀川。水門で囲まれた安全な水面と空間が、約3kmにわたって連なっているのが強みです。将来的には全域が公園・緑道になって歩けるようになる計画ですが、今はまだまだ活用されていない水辺。そんな東横堀川に市民や地域、活動団体、企業など、多様な主体の「〇〇したい」を、水面と水辺空間に集めていくことで、新しい東横堀川のあり方を検討していきます。ぜひ、あなたの「やってみたい」、「こうだったら面白い」をご提案ください。あなたのINGがこれからの東横堀川をつくります。東横堀川のあり方を一緒に探っていきましょう！

■募集テーマ
東横堀川の特性を活かした4つのテーマを設けます。官庁は入れない場所への提案も求めています。2つ以上のテーマにまたがる提案や、4つのテーマをつなぐような提案も歓迎します。

Blue-Site ING Green-Site ING Brown-Site ING Cruise-Site ING

募集内容

■スケジュール
募集期間から報告までの大きなスケジュールは以下の通りです。

募集	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
募集者	エントリー	募集調整(採択計画検討)	選考・調整	提案企業を募集	実施期間	実施内容のまとめ	取りまとめ	報告
事務局	スタディツアー・オープンING	選考・協力	選考・協力	選考・協力	全体企画を実施	情報提供継続など	全体内容のまとめ	参加・報告

■対象エリア
東横堀川及びその沿川を公募対象エリアとします。対象エリアの詳細は募集要項・別添の対象エリアマップを参照ください。

■応募部門
応募部門を設け、個人からグループ、企業まで幅広い方からの応募をお待ちしています。

(1) Idea ING部門
・個人でも参加可能。
・どんな小さな「やってみたい」でもOK。

(2) Challenge ING部門
・企業などによる東横堀川を使った実証実験やチャレンジを応募ください。

■設備・備品
Blue-Siteの利用などで使用可能な台船(3m×6m)を準備いたします。優れた提案を優先して最低1件の提案で台船を利用いただけます。
・その他：β本町側の協力により、テーブル、テント、屋台、トイレ、シャワー等の設備・備品の使用、レンタルが可能です。

■注意事項
本募集は、水都大阪コンソーシアムの「東横堀川における水都大阪の新たなシンボル空間創出調査研究開発」受託事業者として株式会社フューチャーラボが調査研究の一環として実施するものです。
・エントリーされる方には以下の内容へご協力をお願いいたします。
・参加費は無料です。参加費の補助・補助金についてはアンケート協力。
・参加は3月に予定しているオープンINGでの実施です。
・参加があった場合は、参加者アンケート等の参加者向け資料を十分に行うこと。
・その後、詳細については募集要項をご覧ください。

【募集要項】 株式会社フューチャーラボ (株式会社コンソーシアム)による「東横堀川における水都大阪の新たなシンボル空間創出調査研究開発」受託事業者
【問い合わせ先】 株式会社フューチャーラボ (関係：募集(よりよい))
【住所】 550-0021 大阪市東淀川区下田4-1-1
【メール】 mail@f3lab.co.jp

1. シンボル空間創出に向けた調査研究とモデル例の企画 ③モデル例の企画

(3)東横堀川ING応募状況

■問い合わせ件数：・11件（内、1件はオープンミーティングVol.02として実施予定）

■モデル例としての試行実施件数：9件（内、3件は2月以降に実施予定、1件は2023年春の実施予定）

(4)プレイヤー・利活用のモチベーション・発意

	属性	場所	動機・発意	内容	備考
1	沿川事業者	Blue-Site	水上アクティビティの開発	・SUPボードを活用した水上で寝る水上キャンプと水上アクティビティ	・事業化を検討
		Cruise-Site			
2	働く人	Green-Site	コミュニケーション、場づくり	・スウェーデントーチを使った焚き火を囲んだコミュニケーションの場づくり	・継続実施を検討
3	企業	Green-Site	地域貢献	・会社の近くの東横堀川沿川の公園などの清掃活動	—
		Brown-Site			
4	働く人	Green-Site	コミュニケーション、場づくり	・食べられる植物を植え・育て・収穫・食べることを通したコミュニケーションの場づくり	・継続実施を検討
		Brown-Site			
5	舟運事業者	Cruise-Site	夜間クルーズの検討	・水門・船着場の利用時間22時以降のナイトタイムエコノミーを活性化するナイトクルーズ	・事業化を検討
6	個人	Blue-Site	子どものために	・水上アクティビティの仕組みを通した子どもたちの学びプログラム	—
		Cruise-Site			
		Green-Site			
7	市民グループ	Green-Site	子どものために	・子どもたちの発意に任せた自由な遊び場、プレーパーク(冒険遊び場)	・継続実施を希望
		Brown-Site			
8	沿川事業者	Blue-Site	新たな水辺のコンテンツの開発	・水の上に船やサップ、台船に乗り浮かび・漂いながら映画を鑑賞する新たな屋外映画鑑賞・水上シネマ	・定期開催を検討
9	沿川店舗	Green-Site	事業活動での店舗前の水辺の利活用	・店舗前の水辺に露店やキッチンカーを入れた屋外ビアホールイベント	・定期開催を検討

(5)実施に向けた協議・申請

	内容	場所	内容	調整・申請先	申請・許可	備考
1	水上キャンプ・水上アクティビティ	Blue	・水上キャンプサイトの配置	河川	河川一次使用届	・動かせるものであるため一次使用
				水上安全協会	情報共有	—
		Cruise	・水上アクティビティの実施	河川	河川一次使用届	・水門開閉スタートまでの時間で実施
2	焚き火、集会	Green	・焚き火(スウェーデントーチ) ・集会(スツールの配置)	公園	占用許可申請書 (集会その他)	・養生方法などを明確に示す必要あり ・消防への届出必要
				河川	河川一次使用届	—
				消防	催物開催届出書	—
		民地	・看板の設置	民間企業	情報共有・協議	・社会実験の説明 ・公園申請の内容確認
3	清掃活動	Green	・清掃活動	公園愛護会	情報共有	・公園・河川は自由使用の範囲
		Brown	・同上	公園/河川等 ※管理管轄による	情報共有	—
4	エディブルパーク	Green	・プランターの配置	公園	占用許可申請書 (その他: 占用物件)	・占用物件としてプランターを申請
				河川	河川一次使用届	・動かせるものであるため一次使用
				公園愛護会	情報共有	—
		Brown	・プランターの配置	公園/河川等 ※管理管轄による	同上	同上
5	ナイトクルーズ	Cruise	・22時以降の船舶の航行	水上安全協会	情報共有	・βマリーナ係留登録船舶以外が行う場合は水門事務所への情報共有が必要

1. シンボル空間創出に向けた調査研究とモデル例の企画 ③モデル例の企画

(5)実施に向けた協議・申請

	内容	場所	内容	調整・申請先	申請・許可	備考
6	ポンパバイク実演と講座	Blue	・ポンパバイクの走行	—	自由使用の範囲	・水門事務所への船舶航行予定の確認
		Cruise	・ポンパバイクの走行	—	自由使用の範囲	・水門事務所への船舶航行予定の確認
		Green	・ポンパバイク(陸上用)の走行	公園	占有許可申請書(集会その他)	—
				河川	河川一次使用届	—
7	プレーパーク	Green	・プレーパークの開催 ・焚き火(スウェーデントーチ)	公園	占有許可申請書(集会その他)	・養生方法などを明確に示す必要あり ・消防への届出必要
				河川	河川一次使用届	—
				消防	催物開催届出書	—
		Brown	・プレーパークの開催 ・焚き火(スウェーデントーチ)	公園/河川等 ※管理管轄による	同上	—
8	水上シネマ	Blue	・船、サップ等の死水域への一時係留	河川	河川一次使用届	・水門事務所への船舶航行予定の確認
				水上安全協会	情報共有	—
9	屋外ビアホール	Green	・露店 ・キッチンカー ・客席	公園	占有許可申請書(露店営業)	—
				河川	河川一次使用届	—
				保健所	露店営業許可	—

1. シンボル空間創出に向けた調査研究とモデル例の企画 ③モデル例の企画

(5)事前協議から見た課題

場所	調整・申請先	協議から見た課題等
<p>Cruise-Site ING</p> <p>船が行き交う航路。高速の橋桁が屋根となったここにしかない河川空間。</p>  <p>Blue-Site ING</p> <p>橋脚と護岸に囲われた航路から外れている水面。</p> 	河川	・簡易に動かせないものを河川区域に1日以上設置する場合には河川占用許可が必要であるが、1日に満たない場合、簡易に動かせる場合には河川一次使用届にて管理。
	水門事務所	・水門予約状況はHPで公開されているが、予約のキャンセルなどは反映されず、事務所に問合せしないと実際の航行船舶の予定が把握できない。
	大阪水上安全協会	・実装していく際には、航行船舶の安全性を確保するために講ずるべき対策などについて助言を受けるなどの連携が必要である。
	漁業組合	・生き物調査を含め、河川の生き物を採取する場合には、漁業権を持つ漁業組合への事前協議が必要。
<p>Green-Site ING</p> <p>整備された公園や緑道。一部閉鎖されている場所も。</p> 	公園	・火器の使用、エディブルパークの実施など行政としての施策的位置付けがある社会実験として可能となった内容については、現行ルールの中では継続実施が難しい取り組みもある。 ・開設後、閉鎖された公園部分の利用については、管理が不十分、危険箇所の未把握により利活用不可となっている。
	河川	・東横堀川沿川の公園は河川敷地上に設置されているため、公園地を利活用する際にも河川への一次使用届の提出が必要。
	公園愛護会	・東横堀川緑道、東横堀公園のそれぞれの公園愛護会との連携が必要 ・愛護会で管理できるふれあい花壇の面積が決まっており、エディブルパークや花植えなど関わりたい主体が生まれても関わりシロが限られている。
<p>Brown-Site ING</p> <p>将来の公園・緑道の予定地で、今は閉ざされている。</p> 	管理管轄による	・管轄が不明なブラウンサイトも多く、利活用に向けては各用地の管理者を明確にする必要がある。
内容	調整・申請先	
火器の使用	消防署	・火器使用の際には、催物開催届出書を提出の上、許可を受ける必要がある。 ・催物開催届出書を提出の際には、火器使用方法の詳細や、安全対策、避難動線などを作成し添付する必要がある。
飲食の提供	保健所	・公園などで飲食物の調理・提供を行う場合には、保健所の露店営業許可や臨時出店許可を要し、出店事業者の手続きが必要になる。 ・露店営業では、提供できる飲食物への制限がある。
雑踏の可能性あり	警察	・集客型のイベントなどの場合、雑踏警備、交通整理などの必要性が考えられる場合には警察へ事前情報共有を行う必要がある。

(1)東横堀川ING2022-2023の概要 1

■問い合わせ件数

- ・ 11件（内、1件はオープンミーティングVol.02として実施予定）
- ・ 企業：5件、団体・店舗：5件、個人：1件

■モデル例としての試行実施件数

- ・ 9件（内、3件は2月以降に実施予定、1件は2023年春の実施予定）
- ・ 企業：4件、団体・店舗：4件、個人：1件

■実施予定地

※複数のサイトを活用する提案については、主な開催場所に番号をプロット。

Blue-Site ING

橋脚と護岸に囲われた
航路から外れている水面。



Green-Site ING

整備された公園や緑道。
一部閉鎖されている場所も。



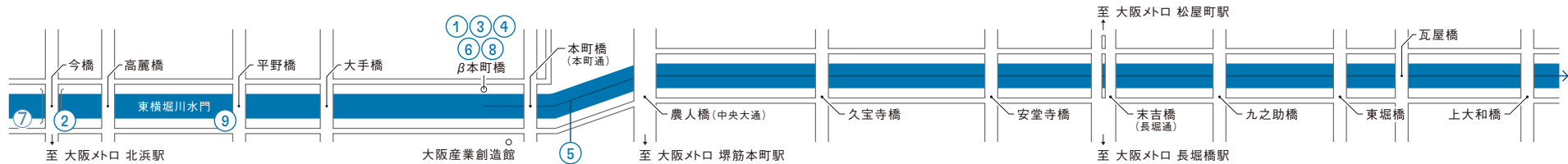
Brown-Site ING

将来の公園・緑道の予定地で、
今は閉ざされている。



Cruise-Site ING

船が行き交う航路。高速の橋桁が
屋根となったここにしかない河川空間。



(1)東横堀川ING2022-2023の概要 2

企画概要

1

水上キャンプ ～食う×寝る×巡る～

📅 10.28(金)–29(土)

📍β本町橋周辺

要予約 ●料金／無料

水の上に浮かんでキャンプする！頭上は高速道路、周りはビルに囲まれた大阪のど真ん中の川に浮かぶ水上キャンプサイトを設置。船の往来のない早朝にはサップボードや水上自転車です水上さんぽを楽しめます。まちなかの水辺で食う×寝る×巡る新しい価値と魅力の発見につながる究極の非日常体験をどうぞ。



🗣️ チャレンジャーの想い／(一社)日本シティサップ協会

サップや水上自転車による様々な水上アクティビティを提供してきました。水門で囲まれ、阪神高速という屋根もかかった安全な東横堀川だからこそできる水上で「寝る」という新たな体験へのチャレンジに私たちもワクワクしています。



BLUE CRUISE GREEN BROWN

- モニター：3組(大人5名、子ども2名)
- 課題：高速道路の騒音、気温、寝具
- 魅力：都心の水辺に宿泊、水上での寛ぎが他にない体験、水上アクティビティとのセット体験
- 価格帯：1人3,000円～1棟20,000円
- プレイヤー：事業化に向けての課題が明確になった。



実施概要

2

スウェーデントーチ in 大阪

📅 12.20(火)・1.18(水)・2.4(土)

📍今橋～高麗橋 西岸エリア

一部予約 ●料金／500円 ●予約窓口



水辺の公園で焚き火を囲みませんか？お手軽に焚き火ができるスウェーデントーチを使って、都心の水際で火を眺めながら仕事終わりにぼーっとしたり、「やってみたいこと」などアイデアを出して面白い仲間を見つけるイベントを実施します。気軽に非日常を体験しに来てください！



🗣️ チャレンジャーの想い／スウェーデントーチin大阪PJチーム

人が自然と集まり、ゆるっとつながれる焚き火の良さを活かして、水辺の近くで働いたり暮らしている人々が身近な“水辺の良さ”を体験したり、新しいアイデアが生まれるようなコミュニケーションが取れたらおもしろいと思っています！



BLUE CRUISE GREEN BROWN

- 参加者：各回約20名
- 課題：トイレなどのインフラ、気軽に交流できる場
- 魅力：街中で焚き火ができてよかった。大人から子どもまで参加でき普段ない交流につながった。焚き火をきっかけに働いている人と暮らしている人の交流ができる。



3

東横堀川エリアの清掃活動

📅 1月～

📍東横堀川緑道

予約不要 ●料金／無料

東横堀川エリアで新しいチャレンジが行われる前に、現場をきれいにしてお掃除したい！自分たちが働くエリアの発展にすこしでも貢献できるように、地元企業の有志が集まって、清掃活動を行います。同じ気持ちの方のご参加大歓迎！様々なプロジェクトが気持ちよく開催されるよう一緒にお掃除しましょう。



🗣️ チャレンジャーの想い／シークス株式会社有志

大阪市中央区備後町が本社の企業の有志メンバーで、周辺地域発展のお手伝いがしたいと応募しました。清掃活動を通して綺麗になった東横堀川沿いで、これから新しい活動が生まれていくのを楽しみにしています。



BLUE CRUISE GREEN BROWN

- 実施調整中
- ※担当者移動により、実施に向けて再調整中。

(1)東横堀川ING2022-2023の概要 3

4

育てて食べて会話して

東横堀川エディブルパーク

📅 1月～ 📍 大手橋～本町橋 東岸エリア

一部予約 ● 料金／無料

地元の方や近隣店舗、お散歩の方も育てたり収穫できる果物・野菜・ハーブガーデンを始めます。育てるところからスタートし、上手に育ったら収穫祭も構想中。普段何気なく通っている公園を、一緒に育てたり会話を楽しんだり収穫できる食べられる公園にしてみませんか？



企画概要

● チャレンジャーの想い／After2025デザイン若手ネットワーク

大阪・関西で活動する若手で、2025大阪・関西万博後の社会の姿を考えるプロジェクトを進めています。After2025でも人と自然、人と人をつなぐサイクルやコミュニケーションが生まれるような、食べられる公園を育てていきたいです！



BLUE CRUISE GREEN BROWN

- 農家との連携により野菜苗を入手し、β本町橋の施設敷地内にてブレ実施中。
- 公園への設置に向けて公園管理者と協議中（4月からの設置を予定）
- 課題
 - ・公園への設置を行う場合、占用物件としての占用申請・手続きが必要になる。
 - ・フラワーポットの占用事例はあるが、食べられる植物については前例がなく、エディブルとする意味や施策的な位置付けが必要。

実施概要

5

大阪のナイトライフを考える

ナイトクルーズ

📅 1.16(月) 📍 東横堀川～道頓堀川

● 料金／無料 ※モニター条件あり

22時以降はクルーズできない東横堀川・道頓堀川でナイトクルーズ！この2つの川は、22時に閉まる水門で囲われているこの2つの川で、普段はクルーズできない時間帯の特別なモニタークルーズを体験いただき、これからのナイトライフを考える簡単なアンケートにご協力いただきます。



● チャレンジャーの想い／(株)GLORIA

大阪・日本の観光で弱いとされる夜の観光ですが、水門内に係留できる施設もできたので、このモニタークルーズを通してニーズを調査し、大阪のこれからのナイトライフを他の舟運事業者さんたちも考えていけたらと思います。



BLUE CRUISE GREEN BROWN

■ モニター：7名：一般4名(内外国人1名)／舟運関係者3名

- 一般
 - ・海外の人には看板が面白くライトがある夜が良い。
 - ・橋の下のライトアップがあると良い。
 - ・高速の下の川というのも面白い。
 - ・夜ご飯後の遅い時間でも、のんびりお酒を飲みながらクルーズができると良い。
- 舟運関係者
 - ・海外の人は東横堀川で盛り上がる。
 - ・灯籠流すなど幻想的な雰囲気東横堀川には合う。
 - ・道頓堀夜に人が居ない。それではクルーズは難しい。陸のコンテンツや賑わいがあるクルーズも成り立つ。
 - ・コロナ前は22時以降のクルーズ拡大を模索していた。
 - ・夜間は酔っ払いなどによる悪戯などが心配要素。

6

ポンパバイクから学ぶ！

飛行機の飛び方

📅 1.22(日) 13:00-15:00 📍 β本町橋周辺

要予約 ● 料金／無料 ● 予約窓口



水の上をアメンボのように走ることができるポンパバイク等を使って、自分の体で体感しながら、飛行機がどうやって空を飛んでいるのかを考え学びます。寒い季節なので、ポンパバイク等の陸上での模擬体験や水面をビヨンビヨンと浮いて走る動画を見ながら、みんなで体験学びましょう。



● チャレンジャーの想い／中村公一

ポンパバイクという踏み込みの力を揚力にして進む人力水中翼船。このユニークな乗り物を通じて、子どもたちが体験を通じて、考え・学ぶ場を作れればと思っています。



BLUE CRUISE GREEN BROWN

- 参加者：16名
- 課題：子どもに体験を通じて学んでもらうには水上での実施の安全性などが課題。
- 魅力：水門に囲まれ、予約状況から船の航行時間も把握しやすい東横堀川ならではの、新たな水上アクティビティ・スポーツの展開場所としてのポテンシャルがある。



(1)東横堀川ING2022-2023の概要 4

7

あきちでプレイパーク

📅 2.19(日) 11:00-15:00

📍 実施場所調整中

📌 予約不要 ● 料金 / 無料

「あきちでプレーパーク」では空き地をプレーパーク(冒険遊び場)として開放します!プレーパークでは、子どもたちが主役。焚き火や秘密基地作り、お絵描きやお店屋さんごっこなど、この日は子どもたちがやりたい遊びを自由に生み出せる空き地空間に変身します。何をやってもいいし、何もやらなくてもいい。子どもも大人もやりたいことやってみよう!



🗣️ チャレンジャーの想い / 長居プレーパークつくり会
プレーパークたねっこ・もりまちっこ / まちっこパーク

都会では、子どもたちの遊びにどうしても制限がかかってしまいます。あれはダメ、これもダメではなく、子どもたちのやりたい!を存分に後押しできる場になれば嬉しいです。子ども心に戻り一緒に遊びましょう!



BLUE CRUISE GREEN BROWN

■参加者：約50名

■課題

- ・実施場所の第一希望だった場所(閉鎖された公園部分)について、公園事務所より使用不可との判断があり、場所の再調整を行った。
- ・トイレがない。

■魅力

- ・囲まれた安全な場所でプレイパークができる。
- ・これまでの各団体の活動の中で初めて火を使用できて、子どもたちの体験の幅も広がった。
- ・土、水、火があるだけで遊び・学びが広がる。



8

水の上シネマ

📅 3.18(土) 18:00-21:00

📍 β本町橋周辺

📌 要予約 ● 料金 / 1,650円～ ● 予約窓口



川の上から映画を観る、「水の上シネマ」が開幕!水上に浮かぶサップボードや船が客席となり、建物にかかる大型スクリーンで映画を観る、体験型の屋外シアターです。上映作品は、日本を旅して食のもったいないを美味くたのしく解決する「もったいないキッチン」。ほかにはない映画体験をお楽しみください。



🗣️ チャレンジャーの想い / (一社)水辺ラボ 他

人力船や動力船による航行するだけでなく、ただ滞在するという新しい水上の使い方を検討しています。きっと楽しく思い出に残る鑑賞体験になるはず!



BLUE CRUISE GREEN BROWN

■参加者：25名

(小型船2艇、サップボード5艇、台船1台)

■課題

- ・スクリーンサイズ、ラジオからの音声など、シネマとしてのスペック不足。

■魅力

- ・水門で囲まれ、ブルーサイトのある東横堀川ならではの漂うプログラムとして魅力がある。



9

リバーサイドビアホール

📅 4月上旬～末 予定

📍 高麗橋～平野橋 西岸エリア

📌 一部予約 ● 料金 / 商品による

水辺でみんなで美味しくビールを飲もうよ!ビール注ぎのプロが注ぐビールや地元の飲食店、キッチンカーのフードが楽しめる、期間限定のビアホールを行います。会場までは船に乗っていけるかも。外で楽しむビールは格別。みんなで気持ちの良い季節を楽しみましょう!



🗣️ チャレンジャーの想い / yachipochi

2021年に平野橋Open & Linkを経て、お店のまわりに捨てられるゴミもだんだん少なくなり、私たちが掃除をしていることでみんなの意識が変わってきたのかも。水辺が楽しく身近な場所になって、良い意識を持つ人が増えるといいですね。



BLUE CRUISE GREEN BROWN

■昨年度の平野橋Open&Linkにも参画した店舗による提案。

■店舗背後の公園をより広く使い、沿川店舗やキッチンカーも入れての屋外ビアホールを企画。

2. モデル例（水上・陸上）の試行実施 ②水環境リサーチProject!水質編

■目的

・「もっと水辺に近づきたい!」「水に触れたい!」そんな声を生かしていくために、まずは東横堀川の水環境の本当のところを知るリサーチプロジェクトを開催。みんなで東横堀川の水環境について学び、考える機会とする。

■実施概要

日時：2023年1月29日（日）13:00～15:00

■内容

13:00～14:00 レクチャー「東横堀川の水はどれくらいきれいなのか？」

講師：藤原 康博 先生（大阪市立環境科学研究センター）

- ・キレイな水の基準とは？
- ・大阪の川の水質の変遷
- ・水をキレイにする取り組み

14:00～15:00 チャレンジ「水中ドローンで川の中をのぞいてみよう！」

水中ドローン操作：武岡 禄基さん（JDA日本ドローン協会）

- ・水中ドローンによる川の中の中継
- ・川の底の泥を取ってみよう



● Q. 東横堀川の水は飲むことができるか？

● A. 海水浴場が運営できる基準として大腸菌の量をみる。東横堀川も昔と比べると大腸菌の量は少なくなっているが、海水浴場と比べるとまだ多く遊泳できないレベル。飲み水としては難しい。今以上の改善は、寝屋川の水質改善が必須。寝屋川の水を東横堀川に入れないようにするくらいのことをしない限りは、泳ぐのは厳しいかもしれない。

● Q. 水中の様子はどうだったか？

● A. 思っていたよりもかなり綺麗でびっくりした。川底の泥の採取も行なったが、ヘドロではなく砂であった。本町橋の下には大きな石がゴロゴロとあり、沈殿物もなくより綺麗だった。

● Q. 水中ドローン市場は伸びると予想されているがどんな仕事を担うようになるのか？

● A. 護岸工事の事前調査なども増えると思う。冷却水の配管など人が入れないような箇所のクラックや漏れの調査を行ったりしている。ドローンのサイズが小さくなったことから仕事の幅も広がっている。体内に入ることも夢ではないかも。空中ドローンは都市部では難しい部分も多い。水都大阪では水中ドローンも活躍すると思う。東横堀川では、安全な水域を生かした水中ドローンの講習会や、子どもたちの遊びにも活用できることを期待している。



3. 研究成果の情報発信・共有

(1)モデル例の周知パンフレット

東横堀川ING2022-2023として公募により集まったアイデアよりモデル例を実施するにあたり、一連のモデル例を周知するツールとしてパンフレットを制作した。

〈表面〉

〈裏面〉

〈中面〉

3. 研究成果の情報発信・共有

(2)東横堀川ING 対象エリア動画

沿川3kmの水陸両方の状況を収めた動画を撮影しYoutubeにて公開して、提案募集時の現地状況把握用の資料とすると共に、東横堀川に興味を持った人が普段は入れない場所まで動画で見られるコンテンツとしてアーカイブした。

・水上：4本、陸上：12本

また、編集前の動画については、水上は360度カメラにて撮影しており、今後のBlue-Site活用における基礎資料として活用が期待できる。



(1) Blue-Site/Cruise-Site編



平野橋～本町橋

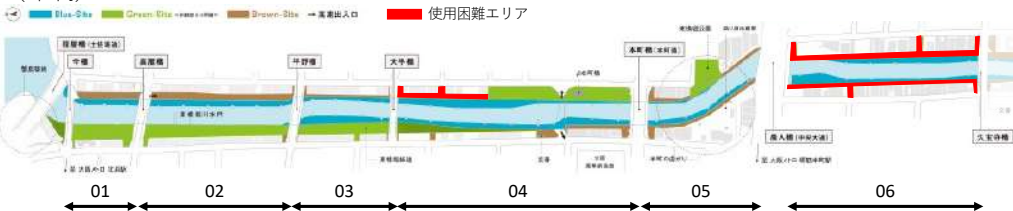
β本町橋～久宝寺橋

久宝寺橋～九之助橋

九之助橋～上大和橋



(A区間)



01_今橋_高麗橋

02_高麗橋_平野橋

03_平野橋_大手橋

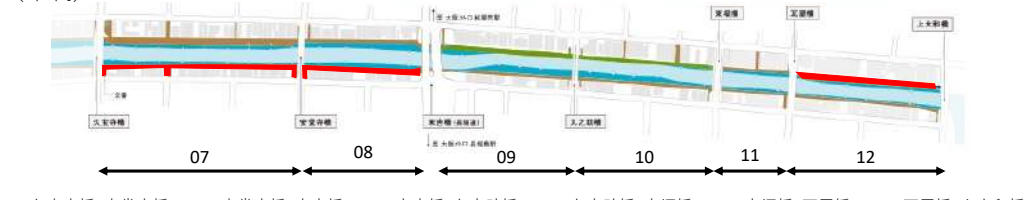
04_大手橋_本町橋

05_本町橋_農人橋

06_農人橋_久宝寺橋



(B区間)



07_久宝寺橋_安堂寺橋

08_安堂寺橋_末吉橋

09_末吉橋_九之助橋

10_九之助橋_東堀橋

11_東堀橋_瓦屋橋

12_瓦屋橋_上大和橋



3. 研究成果の情報発信・共有

(3) SNS・HPでの情報発信

■ SNS

- ・ FB、instagramを活用し、情報発信を行なった。

■ HP

- ・ β 本町橋WEBサイト内にて、本業務に関する情報発信を実施。
- ・ 昨年度からのモデル例やオープンミーティングなど、本事業に関連する情報を一覧できるようにアーカイブしている。



〈SNSページ〉



〈 β 本町橋HP内へのプロジェクト情報発信とアーカイブ〉

(4) 東横堀川ZERO展（仮称）の企画・実施（予定）

■ 目的

- ・ 次年度から護岸改修が始まっていく東横堀川において、変化が始まる前の「ゼロ」の現状をカメラマンによる撮影でアーカイブする。
- ・ 本年度だけでなく、今後変化していく東横堀川において将来的に「ゼロ」地点との対比などにも活用を想定する。
- ・ 現状の東横堀川の課題や魅力、展望を、撮影した写真などを用いながら周知する展示会を開催する。

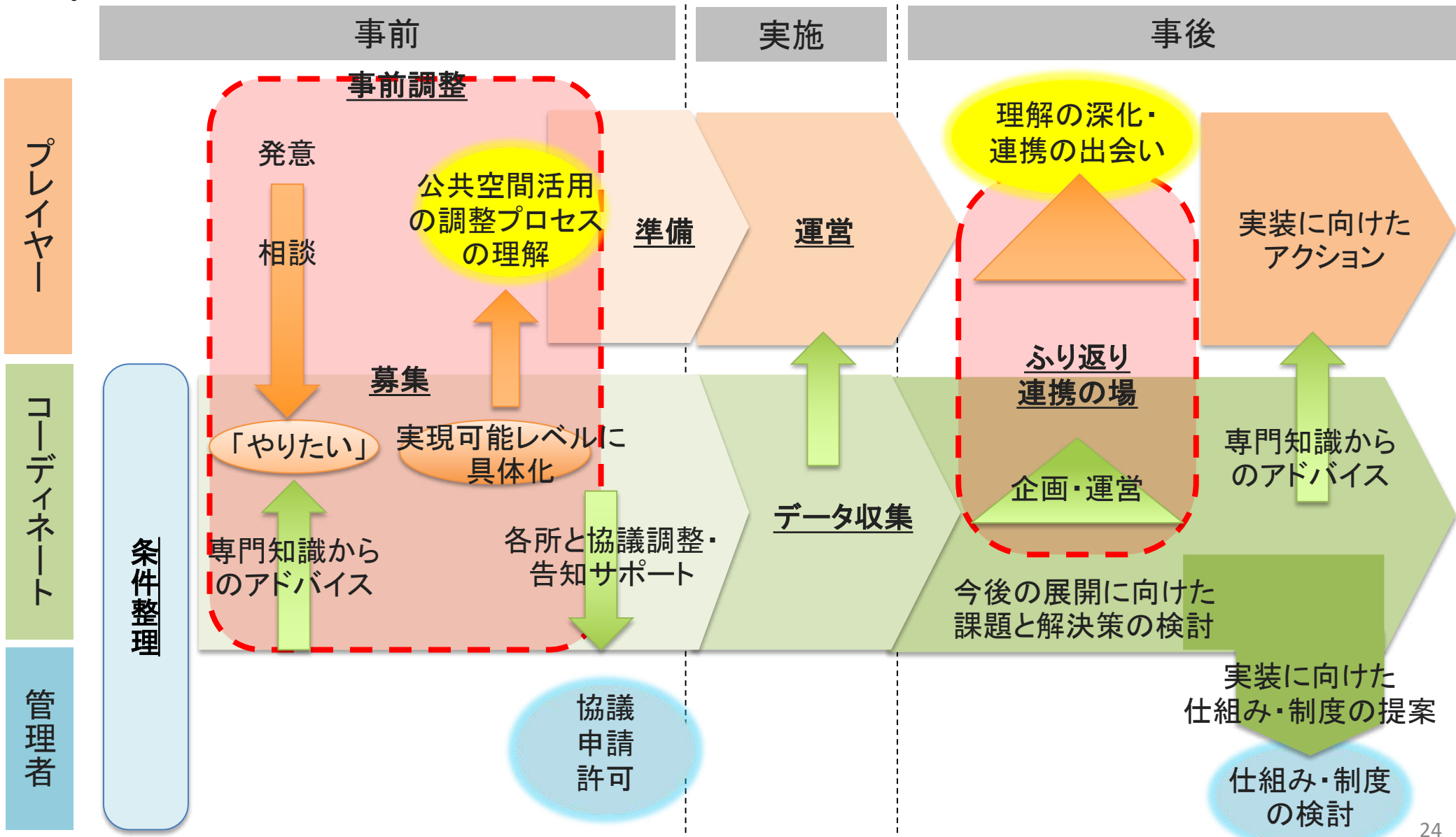
■ カメラマン：増田好郎氏

1971年、兵庫生まれ。国内外の雑誌や広告媒体で活躍中。

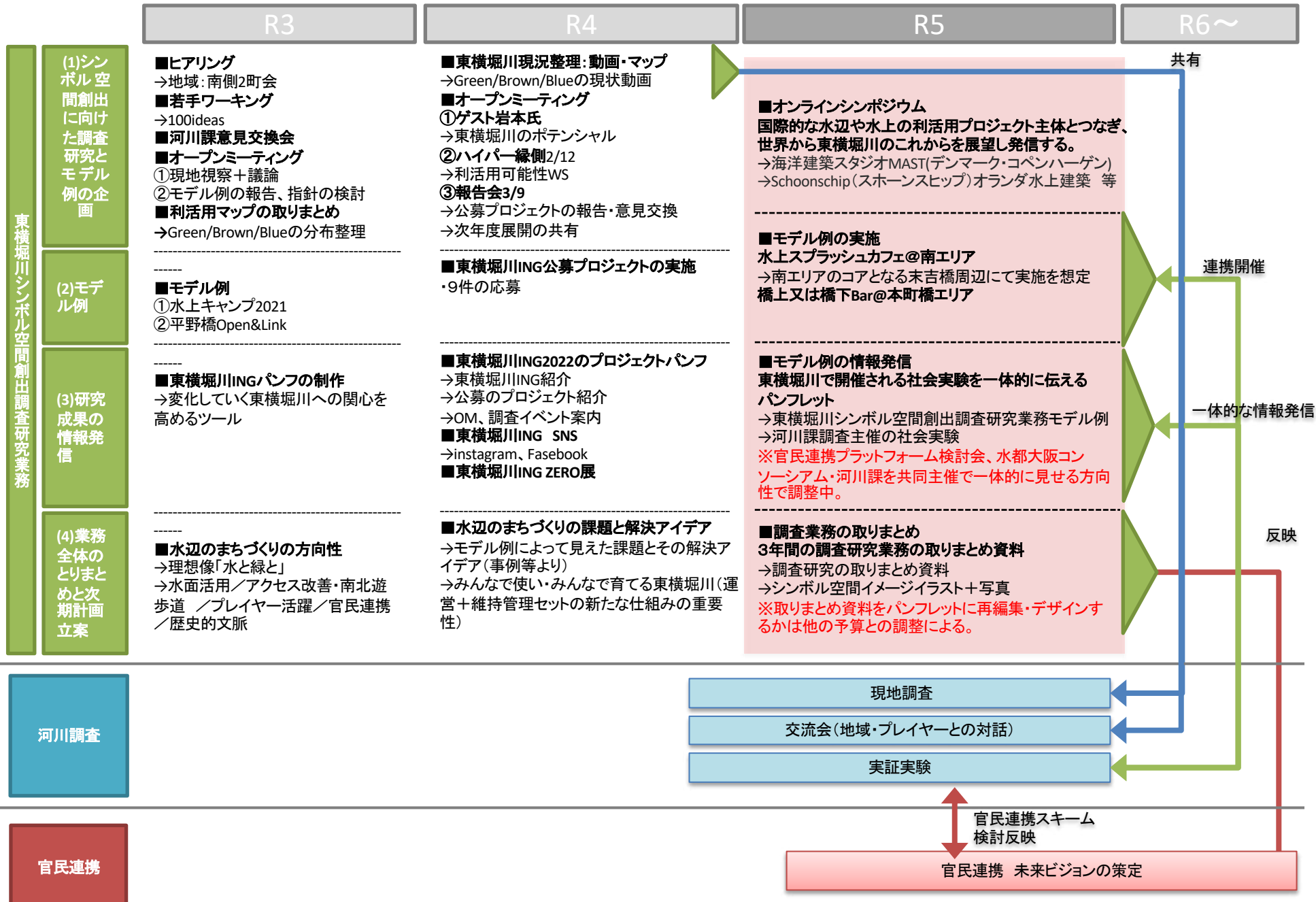


4. 業務全体のとりまとめと次期計画立案 ①今年度のとりまとめ

多様な主体の「発意」を生かし、実装していくためには、企画・アクションへの専門知識からのアドバイスなどのサポートと、「やりたい」を行政の制度・仕組みに翻訳し、新たな仕組み・制度を提案するコーディネーターが重要である。



4. 業務全体のとりまとめと次期計画立案 ②次年度の取り組み案



4. 業務全体のとりまとめと次期計画立案 ②次年度の取り組み企画概要

■モデル例①: 水上スプラッシュカフェ(仮称) 企画概要

- 目的** 東横堀川の水門に囲まれた安全な河川であること、高速道路の橋脚によって生じた航路や流域とされていない死水域という活用可能性が非常に高い水面を有する特性を最大限生かすと共に、これまでの調査で把握した「もっと水辺に近づきたい・触れたい」や「沿川が歩けるように」という声を生かし、水上スプラッシュカフェを開催する。
 また、河川調査と連携し東横堀川の将来を感じ、東横堀川のシンボル空間創出に資する社会実験を行う。
- 時期** 時期:2023年5月～6月
 期間:10日間(金曜～翌週日曜)
- 場所** 安堂寺橋～末吉橋周辺
- 内容**
 - PKフロート又は台船をベースに水上カフェを設置する。
 - 「水に近づきたい・触れたい」という声を生かすため、スプラッシュ=パシヤパシヤできる意匠を持たせる。



■モデル例②: 橋上Bar(仮称)

- 目的** 橋上・橋下など、東横堀川のビューポイント、アイストップとなりうる場所の活用・シンボル空間創出のあり方や実装のための課題をモデル例を通して検証する。



おとがワンダーランド・殿橋テラス©奇天烈写真館

■オンラインシンポジウム 仮題「世界の水上建築最前線」 企画概要

- 目的** 世界の水辺や水上の利活用プロジェクトの主体や建築チームにオンライン参加いただき、世界の水辺・水上の事例から学ぶと共に、東横堀川の取り組み(R5年度の社会実験など)を共有し、世界の多様な視点から意見交換を行い東横堀川のシンボル空間のあり方を展望する。世界に向けて東横堀川を発信する。
- 日時** 時期:2023年 秋(10月ごろ?)
 期間:1日間(2～3時間開催)
- 場所** リアル会場:β本町橋を想定
 ※天候が許せば、屋外開催もあり。
- 内容** 海外ゲスト(例)
 - 海洋建築スタジオMAST(デンマーク・コペンハーゲン)
 - Schoonschip(スホーンシップ)オランダ・アムステルダム水上建築 等



・海洋建築スタジオMAST(デンマーク・コペンハーゲン)
 ーデンマークのコペンハーゲンを拠点とし「都市と海の関係を改善する」というビジョンを掲げる。
 ーランド・オン・ウォーター(Land on water)という適応性の高いサステナブルな水上建築のためのフローティング基礎を開発。

・Schoonschip(スホーンシップ)
 ー2018年12月から住宅設置がスタート、2021年春より実際に人が暮らし始めている。
 ー水上住宅というだけでなく、最も持続可能な水上居住区を築き、ソーラー発電をはじめ、環境負荷を最低限に抑えながら、エネルギーの自給自足を実現するための最先端の設備が整えられている。

4. 業務全体のとりまとめと次期計画立案 ②次年度の取り組みスケジュール案

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) シンボル空間創出に向けた調査研究とモデル例の企画	①ヒアリング・ワークショップ	・オンラインシンポジウム ※シンポジウム含め5件以上実施						企画調整	オンラインシンポジウム開催	シンポジウム取りまとめ				
	②関係機関等との協議・会議の事務補助	・関係機関調整 ・河川課調査との連携調整 ・官民連携ビジョン検討との調整	適宜参加											
	③モデル例の企画	・水上カフェ、橋上バーの企画調整	企画	設計施工										
(2) モデル例（陸上・水上）の試行実施	①候補地A（末吉橋周辺）	・水上カフェの実施			実施(2週末)									
	②候補地B（橋梁）	・橋上または橋下バーの実施			実施									
(3) 研究成果の情報発信	・東横堀川で実施される社会実験等の一体的な情報発信	情報発信ツール制作						SNS等での情報発信(順次)						
(4) 業務全体のとりまとめ	・3年間の業務取りまとめ											3年間の取りまとめ		納品